

科目名	キャラクターデザイン実習B							年度	2026
英語科目名	Character Design Practice B							学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース 2年次	必/選	選1	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	熊川敬亮	教員の実務経験		有	実務経験の職種		デザイナー		
【科目の目的】 様々なデジタル作品を制作し、学生が自身の適性を知るとともに就職活動に必要なポートフォリオ作品のベースを完成させることを目的とする。									
【科目の概要】 キャラクターデザインやイラスト制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。									
【到達目標】 到達目標A/各課題の内容に沿ったラフ案を出せるようにする。 到達目標B/クオリティを意識した線画を描けるようにする。 到達目標C/クオリティを意識した着彩を出来るようにする。									
【授業の注意点】 課題提出締め切り日を厳守してください。社会への移行を前提としたマナーで授業に参加してください。 授業内での作業が基本です。 当授業の課題は最低数であり、より高度な技術や真剣に就職を考える生徒には個別で課題を展開します。 状況により授業内容が変更になる場合があります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	魅力的なラフ案をスムーズに出せる。		課題の趣旨に合った及第点のラフ案を出せる。		ラフ案をなかなか出せない。				
到達目標 B	デッサン的な崩れが少なく、線画時点での表現が見受けられる。		デッサン的にある程度整っているが、質感やその他表現があまり入っていない。		デッサン的な崩れが目立ち、質感・その他表現が全くない。				
到達目標 C	陰影のとらえ方が出来ており、着彩で作品がクオリティアップする。		ある程度陰影がつけられるが、着彩によって作品がそれほどクオリティアップしない。		陰影がほとんどつけられない。				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 参考書・参考資料等は授業中に指示する。									
【参考資料】 課題ごとにpdfデータなどを閲覧・配布。									
【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度を作品を提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャラクターデザイン実習B			年度	2026
英語表記		Character Design Practice B			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	デジタル作画 (背景)	自然物背景イラスト制作	1 ラフ制作	見本通りにラフを完成させられた。	3	
2	デジタル作画 (背景)	自然物背景イラスト制作	2 仕上げ	見本通りに作品を完成させられた。	3	
3	デジタル作画 (キャラ)	SDキャラ制作①	1 ラフ制作	全体のバランスを意識してラフを考えられた。	3	
			2 線画制作	デフォルメ特有のシンプルな線で作画できた。		
			3 着彩	デフォルメ特有のシンプルな塗りで着彩できた。		
4	デジタル作画 (キャラ)	SDキャラ制作②	1 ラフ制作	全体のバランスを意識してラフを考えられた。	3	
			2 線画制作	デフォルメ特有のシンプルな線で作画できた。		
			3 着彩	デフォルメ特有のシンプルな塗りで着彩できた。		
5	デジタル作画 (素材)	装備イラスト制作	1 ラフ制作	テーマに沿ったデザイン案を出せた。	3	
6	デジタル作画 (素材)	装備イラスト制作	1 線画制作	ディティール、具体性を意識して線画を作画を進められた、	3	
7	デジタル作画 (素材)	装備イラスト制作	1 着彩	面や光源を意識して着彩できた。	3	
8	デジタル作画 (背景)	部屋イラスト制作	1 ラフ制作	全体のバランスを意識してラフを考えられた。	3	
9	デジタル作画 (背景)	部屋イラスト制作	1 線画制作	ディティール、具体性を意識して線画を作画を進められた、	3	
10	デジタル作画 (背景)	部屋イラスト制作	1 着彩	面や光源を意識して着彩できた。	3	
11	デジタル作画 (ポスター)	ポートフォリオ用イラスト制作	1 ラフ制作	構図を意識してラフを考えられた。	3	
12	デジタル作画 (ポスター)	ポートフォリオ用イラスト制作	1 線画制作	ディティール、具体性を意識して線画を作画を進められた、	3	
13	デジタル作画 (ポスター)	ポートフォリオ用イラスト制作	1 線画制作	ディティール、具体性を意識して線画を作画を完成できた。	3	
14	デジタル作画 (ポスター)	ポートフォリオ用イラスト制作	1 着彩	光源を意識して着彩を進められた。	3	
15	デジタル作画 (ポスター)	ポートフォリオ用イラスト制作	1 着彩	光源を意識して着彩を完成させられた。	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等

科目名	キャラクターデザイン実習B							年度	2026
英語科目名	Character Design Practice B							学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース 2年次	必/選	選1	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	熊川敬亮	教員の実務経験		有	実務経験の職種		デザイナー		
【科目の目的】 DTP (Desk Top Publishing) を学びつつ、Adobe Illsutratorを用いて、将来の業界就職の活動のために、自分のオリジナルの名刺やポートフォリオを制作します。									
【科目の概要】 キャラクターデザインやイラスト制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。									
【到達目標】 到達目標A/DTPについて理解し、名刺を制作する。 到達目標B/自分のポートフォリオのフォーマットを制作する。									
【授業の注意点】 課題提出締め切り日を厳守してください。社会への移行を前提としたマナーで授業に参加してください。 授業内での作業が基本です。 当授業の課題は最低数であり、より高度な技術や真剣に就職を考える生徒には個別で課題を展開します。 状況により授業内容が変更になる場合があります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	DTPの基礎を理解し、 Adobe Illsustratorを用いて、 優秀な名刺制作している。		DTPの基礎を理解し、 Adobe Illsustratorを用いて、 名刺制作をしているが、 クオリティは一般的である。		DTPの基礎を理解できておらず、 Adobe Illsustratorを用いた、 名刺制作が完了できない。				
到達目標 B	作品レベルが高く、業界に 進める水準に達している。		作品レベルは水準に達しているが、 業界に進むには今一歩努力が必要である。		作品レベルが低く、現段階では 業界に進むことは厳しい状況である。				
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 参考書・参考資料等は授業中に指示する。									
【参考資料】 課題ごとにPDFを閲覧									
【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャラクターデザイン実習B			年度	2026
英語表記		Character Design Practice B			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	DTP基礎3	名刺制作のポイント学ぶ	1 DTP演習	DTPの基礎が理解できた	3	
2	名刺制作	自分の名刺を制作する	1 名刺のデザイン	自分の名刺デザイン案を出せた	3	
3	名刺制作	自分の名刺を制作する	1 名刺のデザイン	Adobe Illsutratorを用いて名刺制作ができた	3	
4	名刺制作	自分の名刺を制作する	1 名刺のデザイン	デザインの微調整ができた	3	
5	名刺制作	自分の名刺を制作する	1 名刺のデザイン	モックアップを制作し、提出できた	3	
6	名刺制作	講評	1 名刺のデザイン	講評で自分の問題点が理解できた	3	
7	ポートフォリオ制作	ポートフォリオレクチャー	1 概論	ポートフォリオの制作方法が理解できた	3	
8	ポートフォリオ制作	プロフィールページデザイン	1 コンセプト	全体のデザインコンセプトを決められた	3	
			2 プロフィール	自分のプロフィールページのデザイン案を出せた		
9	ポートフォリオ制作	プロフィールページデザイン	1 プロフィール	プロフィールページを制作できた	3	
			2 コンテンツ	コンテンツを制作できた		
10	ポートフォリオ制作	プロフィールページデザイン	1 プロフィール	プロフィールページのデザインを微調整した	3	
			2 コンテンツ	コンテンツのデザインを微調整した		
11	ポートフォリオ制作	表紙デザイン	1 表紙デザイン	表紙のデザインを制作できた	3	
12	ポートフォリオ制作	表紙デザイン	1 表紙デザイン	表紙のデザインを微調整した	3	
13	ポートフォリオ制作	見開きページ	1 見開きページ	見開きページをデザイン制作できた	3	
14	ポートフォリオ制作	見開きページ	1 見開きページ	見開きページデザインを微調整できた	3	
15	ポートフォリオ制作	提出 講評	1 提出	表紙、プロフィール、見開きページを	3	
				提出し、改善点を把握できた		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等